

魅力を耕す

高山市では地域の特性を生かした農業生産が盛んです。広報たかやまでは、私たちの暮らしの重要な役割を担っている農業について、特色ある農作物の生産や特徴的な取組みなどをシリーズでご紹介しています。

『荒城農業小学校』は、農業体験などを通じて、子どもたちに働く喜びや食料に対する感謝の気持ち、里山の文化を継承していくことを目的に平成14年に開校しました。平成15年には活動拠点として「荒城農業体験交流館」が完成し、現在まで9期にわたり活動を展開しています。

平成20年度からはJAひだ指定管理者となり、地元農家の農家先生と一般募集のボランティアスタッフが授業の企画運営を支えながら取り組んでいます。

毎年4月に飛驒地域の小学生を対象に生徒を募集し、月に1、

知恵や技の継承 世代を超えて「農」を学ぶ

2回のペースで年間15回程度開催しています。授業では米や野菜づくりのほかに、勾玉やしめ縄づくり、餅つきや味噌づくりなどさまざまな体験授業を行います。授業だけでなく教室となる田畑を移動する際も、地域や学年を超えて遊び、自然からさまざまな発見をしていきます。

また、農家先生の多くは世代交代した高齢者の方であることから、農業だけでなく、時折飛驒の文化や歴史などにも触れて教えていただきますので、その知恵や技には子どもたちだけでなく保護者やスタッフにとっても興味深く、教わることも少なくありません。

2月には全員が卒業を迎えますが、入学したころとは見違えるほどたくましく成長し、それぞれの体験を胸に全員が笑顔で卒業していきます。みなさんも荒城農業小学校に参加してみたいかがでしょうか？

体験教室に参加しませんか？

荒城農業体験交流館では、荒城農業小学校のほかにグラスアート教室・そば、うどん打ち教室などを行っています。また、敷地内にはJAひだのまほろば文化村事業として荒城郷雅窯があり、陶芸体験教室も行っています。

いろんな体験教室に行ってみませんか？

- 問合先 荒城農業体験交流館 ☎72-1066
- 荒城郷雅窯 ☎72-3840



そば打ち体験教室の様子



素足になっての田植え体験



荒城農業体験交流館

◎ 国府地域

みんなで協力して雪またじ

道路除雪にご理解とご協力を

- 除雪の妨げになる路上駐車はしないで
- 道路除雪後の残雪処理はみなさんの手で
- 道路に雪を投げ捨てないで
- 側溝に雪を流すときは細かく砕いて少しずつ。特に側溝ふたを開けたまま放置しない
- 通学路やバス停、横断歩道の除雪にご協力を
- 問合先 維持課 (☎35-3340)

第60回飛驒生きびな祭 「生きびな様」を募集します

4月2日～3日／高山陣屋周辺・飛驒一宮水無神社

飛驒路に春の訪れを告げる飛驒生きびな祭が今年、60回目の節目を迎えるにあたり、出演いただく内裏や后、官女などを全国から募集します。

- 対象 4月2日現在18歳以上25歳未満の健康な未婚女性
- 募集人数 1日につき9人(2日間で18人・配役は実行委員会で決定)
- 参加料 20,000円(着付け費用・保険料など)
- 申込方法 応募要領により2月21日(月)までに郵送
- 問合先 一之宮支所基盤産業課 (☎53-2211)